

men's clothes

2006春夏ファッショントレンド

男の洋服ABC、 “クラシック”が帰ってきた

単なる崩しや外しだけではみっともない。
約束やルール、洋服のABCをおさえたうえで、
ファッションを楽しもうじゃないか、
というのが2006春夏のENGINEからの提案である。
クラシック・アイテムやフォーマルのテイストを
カジュアルに取り込もうという雰囲気も、いまモダンに見える。
モード篇、プレッピー・ルックをフィーチャーするボロ・ラルフローレン篇、
シューズ篇を通して、春夏ファッションをご紹介する。

冒頭特別座談会

“クール”の失墜と発見

グッチを率いたトム・フォードが去って、いわゆるモテ服モードが沈静化したいま、
ファッションはどうなっていて、どこへ向かおうとしているのか。
ファッション界のオーソリティ3人による恒例の座談会で、
そのあたりを解き明かす。

語る人=河毛俊作+栗野宏文+中野香織 写真=徳山宗孝

撮影協力=ダ・ドリアデ青山 Tel. 03-5770-1511

栗野宏文

ユナイテッドアローズ・チーフクリエイティブオフィサー。
ディオール オムのエディ・スリマンのもとで働いてきた
クリス・ヴァン・アッシュを評価し、当日も着用。フォーマルを自由に換骨奪胎する。ズツールは「MUKU」シリーズ。4万2000円、サイズ:W370 D380 H700mm (ダ・ドリアデ)



中野香織

服飾史家。
話題にのぼったユーバーセクシャルについて。「その代表格がアーノルド・シュワルツェネッガーとジョージ・クルーニーなんだそうです」。今春から朝日新聞で連載がスタート、「モードの方程式」(小社刊)の第2弾も刊行予定。



河毛俊作

演出家、フジテレビ・ゼネラルディレクター。
「トレンドに100%合わせて来ない。ちょっとした破綻を抱え込んでいるところが魅力」と解説するボッタガ・ヴェネタのカーディガンで座談会当日は登場した。



ケンが2タイプ

中野 メンズ・ファッショニのある種のキーワードだったメトロセクシャル（都市住民「メトロ」と異性愛者「ヘテロセクシャル」の合成語。若くて高収入で都市部に住み、女性的ファッショニ・センスや文化的趣味をもつ異性愛者の男のこと）は終わりとマーケティングの世界で言わされているようで。これからはユーバーセクシャルの時代だそうですね。

栗野 ユーバー（ubere）ですか…… 中野 極上とか格上をあらわすドイツ語の接頭辞で、メトロが女の子と一緒にキャーキャーじゃれあうよう付き合いをしているのに対し、ユーバーの方はちゃんと女性をエスコートする。ファッショニと自分のグルーミングに多大なエネルギーを注ぐメトロに対し、ユーバーはビジネスにもマインドを向ける。メトロはマッチョを否定して出てきたんですが、

栗野 その場合はちゃんと女性側の立場つてきただのかなという気がします。

河毛 その場合、女性側の立場つてきただのかななんですか？

中野 どういう立場なんですかね？ それを皆さんと考えたいなど……例えれば、あのバービー人形のバートナーケンが。

栗野 復活したんですね。

中野 革ブルゾンに古着風ジーンズ、ブーツで決めたジョニー・デップがモデルのタイプと、白いTシャツに

バミューダ・ショーツのデービッド・ペックムがモデルの2種類が登場。

河毛 それはつまり、スポーツ系アート系みたいなことですか？

「ごく単純に言えば、

中野 ええ。でも、どっちもバービーちゃんのアクセサリーであることには変わりがないですよ。

栗野 なぜケンが復活したかと言ふと、バービーそのものがいま、時代遅れになりつつあるかららしいですよ。バービーの人気がなかなか上がっていないから、バービーそのものよりもケンから改革しようみたいなところらしいんです。ここ数年間、女の立場つて相変わらず強い。それをもっと楽しんでもらうためには女を変えるんじゃなくて、まわりを変えよう。今までだつたら1タイプで済ましちゃうところをペッカムとジョニー・デップから選べる。どっちみち主導権は女側にあるって感じですよね。

栗野 ところでいま、スーツをちゃんと着てる男がカッコいいといった雰囲気がありますよね。

中野 それで思い出したんですけど、チャールズ皇太子がアンダーソン&シェパードで仕立てなくなつて、既製服を着るようにならうですね。

河毛 何をおもつたんだろうね。

中野 新しい奥様のカミラとアメリカを訪ねたときに着ていたのが、ターンブル&アッサーの既製服で、この時の写真と、かつてアンダーソン&シェパードの仕立て服を着て訪米した時の写真が並べられて、いかにも格が下がつたと皮肉られ、サヴィル・

河毛 ゲイの人となら�性的なプレッシャーもないから本音も言えるし、楽しい。じきに飽きちゃうんだね。そのアkseskeさみたいなことに。

栗野 そうですね。ここ数年、男性の女性化というか、男が女のヒト的なお金の使い方とか、テンションの持ちようにつづいていくという流れ

があつたんですね。それがメトロセクシャルで、『チャラ男』だつた。

河毛 言ってしまえばちょいモテ・オヤジも一緒でしょ。

栗野 いずれにせよいま、モテ男モテ服チャラ男よりも、クレバーだつたり、アーティだつたり、ハートフルだつたり、という方向に振れてきているようにおもいます。いつの時代も『男像』というものをまた新たに再生産、再定義し続けるしかないんでしょ。

中野 それで思い出したんですけど、チャールズ皇太子がアンダーソン&シェパードで仕立てなくなつて、既

製服を着るようにならうですね。

栗野 ところでいま、スーツをちゃんと着てる男がカッコいいといった雰囲気がありますよね。

中野 それで思い出したんですけど、チャールズ皇太子がアンダーソン&シェパードで仕立てなくなつて、既

製服を着るようにならうですね。

河毛 何をおもつたんだろうね。

中野 新しい奥様のカミラとアメリカを訪ねたときに着ていたのが、ターンブル&アッサーの既製服で、この時の写真と、かつてアンダーソン&シェパードの仕立て服を着て訪米した時の写真が並べられて、いかにも

河毛 ゲイの人となら�性的なプレッシャーもないから本音も言えるし、楽しい。じきに飽きちゃうんだね。そのアkseskeさみたいなことに。

栗野 そうですね。ここ数年、男性の女性化というか、男が女のヒト的なお金の使い方とか、テンションの持ちようにつづいていくという流れ

うのは、『グールの失墜』ってことであります。これまでオーソドックスがあつて、そのカウンターとしてグールがあつて、このあたりは『グール・ルールズ』って本当に詳しいですけど、

栗野 これが時代の変化を受け、グールがビジネスに利用され、だんだん表側に出で、ついにグールが社会の主導権を握っちゃつたんだよね。そんなクールに何の存在価値もないんですよ。

中野 そうですね。

河毛 あくまでグールをファッショニ・アイコンと考えた場合は、オーソドックスがしっかりしていなければクールは映えないよね。だからそういうユーバーとかエキセントリックな形容詞を次々考えていかないと、クールが飽和しちゃう。

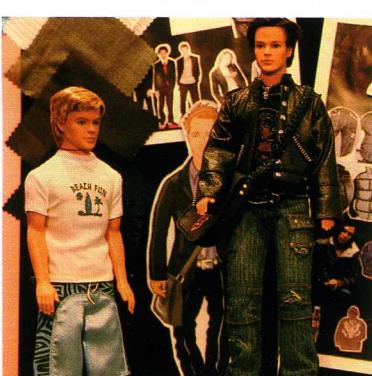
栗野 一番わかりやすい例がヒップホップでしょうね。ジャステイン・ティンバーレイクをプロデュースしたり、アベイシングエイプのプロデューサー、NIGOさんと仲良しのファレル・ウィリアムスつていまスーツ着ていますよ。

中野 ヘえ。

栗野 カニエ・ウェスト、ジョン・レジェンドもそう。少し前まで野球帽かぶって『ヘイ！ヨー！』だった人がスーツきつちり着て上質な格好をしてるんですよ。グール側にいた人が一番コンサバな格好することが

座談会で話題にのぼったテーマから。左端があたらしく登場したケン。バービーと『破局』してからわずか2年で、しかも2タイプでもってカムバックしてきた。左がサッカーのデービッド・ペックム選手、右が俳優のジョニー・デップをイメージしたもの。写真中央と右がチャールズ皇太子のビフォー・アフター。現在着用する既製服とかつてのアンダーソン&シェパードのテイラード服と比較すると、全体に、シルエット的なユルさを見ることができる。

メトロセクシャルからユーバーセクシャルへ



チャールズの既製服は是か非か

● Hirofumi Kurino ● Kaori Nakano ● Shunsaku Kawake

ボツテガ・ヴェネタが気になる

河毛 そういう意味ではチャールズは読み違えた?
栗野 そうですね。

河毛 彼は親しみやすい王室をアピールすることで、その存続を図ろうとしたかったんだろうけど、ぼくは全く逆だと思うんだよね。

中野 もっとゴリゴリのブリティッシュにいくべきだったと。

河毛 もうタایツでもいいくらい。
栗野 かつらとか?

河毛 そう。ずっとクールですよ。

栗野 やはり、オーソドックスなものを一度おさらいしようという雰囲気が支配的で、クラシックなトレンドがしばらくは続きそうです。なか

河毛 でも注目がフォーマル。06-07秋冬のディオールオムもランバンもそうだし、おおかたその方向のようですが。

ストーリーがないとダメ

河毛 最近思っていることがあります。男と女のファッショントレンドの仕方の違いみたいなことです。

栗野 と言います。

河毛 女のファッショントレンドの仕方は、男の

栗野 動いてないとサマにならない

河毛 そうなんですよ。僕らが若いころ、いまみたいにファッショントレンドがない頃にファッショントレンドの手本だったのは、映画なんですよ。

栗野 そうですね。去年位までの東

京の若い男の子の一部つてのはスチール方向にすごく行こうとしていましたよね。”いまここで”ディオール

オム着てるオレって素敵”みたいな。だけど多分あんまり発展性がないことに気づいたのかもしれない。

河毛 その流れが、もうちょっとムード一派的な方に戻って行くような気がするんです。男の服ってものがそもそも奇をてらつたものではないとか、シンプルな形の方が美しいとか、上質であるべきだとか、そういういたキーワードが、クラシック回帰の呼び水となるようなね。だから一発芸みたいね、服を次々見せられてもこまるっていう感じかな。

中野 一方で、トレンドのひとつに、プレッピーも挙げられていますが。

栗野 プレッピーは最初から崩しが入っているから理解しやすいんですね。若い子にトラディショナル

すよね。若い子にラコステのポロ・シャツ、偉

つてかっこいいんだよねーと言つてもわかるないじゃないですか。

河毛 まさに、クールだからね。

栗野 ええ。その点プレッピーならズボン破けていても、シャツをいくつも重ね着してもいい。

河毛 なるほど間口が広いんですね。あらたなトレンドとして、ブリティッシュ

スタイルがちゃんとダメ。

河毛 そうなんですよ。僕らが若いころ、いまみたいにファッショントレンドの手本的に見れば、コンサバって新鮮だね

河毛 たつたのは、映画なんですよ。

栗野 そうですね。去年位までの東

カジュアルに振れ過ぎちゃったからもう少し小さめにしようよみたいな。

河毛 そうですね。マイルス・ディビスマイナもんじゃないです。

栗野 ところから入って行きますが、プレッピーはキレイめな格好を崩したところから入って行きますが、ブリティー・ソバーの方はキレイめな格好そのものに入っていくのに機は熟したよ、崩してから入る必要はないんだよ、というスタイルですね。

河毛 結局みんなクラスが欲しいんでですよ。お金持ちになつて穴の空いたジーンズはいて成功したら、次にからチャールズがさあ……

栗野 ……最後までチャールズですね。

時代遅れにはならない

河毛 今シーズン、プラダやポロ・ラルフローレンは相変わらず気になりますが、ボツテガ・ヴェネタ、バレンシアガ、マルタン・マルジェラ

がやたら気になります。あ、あとね、やっぱラコステのポロ・シャツ、偉

大ですよね。

河毛 そうですね。ボツテガはセンスがいいし、マルジェラは洗練されてきているし、バレンシアガはとにかくシャープです。ラコステのポロ・シャツは」というと、究極のクラシック・アイテムですが、違う角度から見ればモダンなもの。リーバイス501しかし、オールデンのローファーしかし。温故知新をやりながら、昔は良かったnejyなくて、昔のモノの完成度の高さをもう一回ちゃんと確

認していくような流れですね。

河毛 昔のモノがもつ本質的なモダニ

ンさの再発見かしら。

栗野 そうですね。マイルス・ディビスマイナもんじゃないです。

河毛 もう、クールの誕生だよね。やっぱり本当にクールなものはね、時

代遅れにはならないんだよ。

河毛 確かにね。Tシャツにジーンズを合わせるさりげなさじやなくて、

言語矛盾なんだけど”おげさなさりげなさ”といいますか、その背景にクラス感がチラッとでも見えるところでしょう。

河毛 確かにね。Tシャツにジーンズを合わせるさりげなさじやなくて、

河毛 これからのトレンドというと、これは、モテ服が一掃されたいま、

さりげなさ、つていうところにポイントがあるのかかもしれませんね。

河毛 確かにね。

河毛 これから

座談会の話題にのぼったアイテムたち。写真左から、ジェームズ・ディーンが表紙を飾る『クール・ルールズ』(研究社刊)。その隣は、マルタン・マルジェラのレザー・ブルゾン。ワイルドとシックが交錯する。右端がバレンシアガのジャケット。フォーマルを上手に遊ぶ。ブルゾン24万1500円(マルタン・マルジェラ／伊勢丹新宿店Tel.03-3352-1111)、ジャケット12万3900円(バレンシアガ／ユナイテッドアローズ 原宿本店 メンズ館Tel.03-3479-8180)

